



日本赤十字社公式キャラクター
「ハートラちゃん」

こんにちは、日本赤十字社 北海道支部です。

私たち日本赤十字社は、災害時の救護活動などを行う民間の法人です。

その活動は、国などからの補助金ではなく、

皆さまからの寄付に支えられています。

5つの主な活動内容

皆さまからのご支援をもとに、日本赤十字社北海道支部は人の『いのちと健康、尊厳を守る』人道的な活動を、道内各地、全国都道府県、そして世界中で行っています。



1 災害救護活動 手を差し伸べ、命を守る 赤十字社の使命

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命とし、今日まで救護活動を社業の柱として展開してきました。令和6年元日に発生した「能登半島地震」では、救護班(医師1名、看護師3名、事務職員等2名で構成される医療チーム)の派遣や救援物資の配布など、さまざまな救護活動を行い、道内からも全10カ所の赤十字病院から救護班19班を能登地方へ派遣しました。

また、平時から訓練や研修を実施し、資器材を整備するなど、万一の災害発生時に迅速に対応できるよう備えています。



2 国際活動

世界を超える、支援の輪



190を超える国と地域に広がる赤十字のネットワークを活かし、紛争や自然災害、感染症等で苦しむ世界中の人々を救うため、救援活動や開発協力などを行っています。



3 救急法などの普及

備えることで、命を救う



心肺蘇生やAEDの使用方法、高齢者支援に役立つ介護技術、子どもの事故防止と応急手当など、緊急時の手当てや事故防止等に必要な知識と技術を伝える各種講習会を開催しています。



4 赤十字ボランティア 困難に寄り添い、助け合う



赤十字の使命である「苦しんでいる人、困っている人の役に立ちたい」という思いを持つ各赤十字ボランティアにより、地域のニーズに応じたさまざまな活動を各地で実施しています。



5 青少年赤十字

こころを育み、未来をつくる



次代を担う子どもたちに、さまざまな実践を通じて「いのちを大切に、相手を思いやる」こころと「気づき、考え、実行する」力を育む活動を、学校の教育現場を中心に実施しています。



**町内会や会社、
学校で赤十字を活用ください。**

「自助」・「共助」とよく聞か何をしたらよいかわからない、どこに相談してよいかわからない、そんな時は赤十字をご活用ください。